



平成 26 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 比較.com 株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 哲男
(コード番号 2477 東証マザーズ)
問合せ先 管理部マネージャー 鳥巢 達也
(TEL. 03 - 5447 - 6690)

平成 26 年 6 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

このたび、当社において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 8 月 14 日の決算発表時に公表した平成 26 年 6 月期（平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 26 年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値にも差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異 (平成 25 年 7 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(1) 連結

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	316	△26	△25	△32	円 銭 △9.89
実 績 値 (B)	306	△0	0	21	6.70
増 減 額 (B-A)	△9	25	26	53	—
増 減 率 (%)	△2.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期同期実績 (平成 25 年 6 月期第 2 四半期)	362	12	14	△6	△1.96

(2) 個別

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	306	△20	△18	△24	△7.48
実 績 値 (B)	298	5	7	△6	△2.00
増 減 額 (B-A)	△7	25	26	17	—
増 減 率 (%)	△2.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期同期実績 (平成25年6月期第2四半期)	348	13	17	△3	△0.97

2. 平成26年6月期通期業績予想数値の修正
(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	701	△25	△24	△36	△11.38
今 回 修 正 予 想 (B)	637	4	7	15	4.78
増 減 額 (B-A)	△64	30	31	52	—
増 減 率 (%)	△9.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期同期実績 (平成25年6月期通期)	725	63	64	15	4.69

(2) 個別

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	675	△18	△14	△26	△8.07
今 回 修 正 予 想 (B)	628	14	17	△6	△2.11
増 減 額 (B-A)	△47	32	31	19	—
増 減 率 (%)	△7.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年6月期通期)	700	66	72	23	7.24

(注) 当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 差異の理由

(1) 平成26年6月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異

[個別]

当第2四半期連結累計期間につきましては、インターネット広告事業においては広告宣伝費をはじめとするコストの見直しを行い事業の採算性が改善したことに加え、一般管理費の抑制を行いました。また、アプリケーションサービス事業においては売上高が順調に推移いたしました。その結果、営業利益、経常利益及び四半期純利益は予想を上回りました。

[連結]

個別業績の結果を受け、営業利益、経常利益は予想を上回りました。

また、当第2四半期連結累計期間において、当社の完全子会社である予約.com株式会社の国内宿泊予約サービス事業を譲渡したことにより、事業譲渡益35,619千円を計上した結果、四半期純利益は予想を大きく上回りました。

(2) 平成26年6月期通期業績予想数値の修正

[個別]

インターネット広告事業の主力カテゴリである証券分野において、NISA市場開設による活況はあるものの、FX市場での新規口座開設数の減少や法規制強化の影響、プロモーション費用の高騰による集客減により、通期売上は前回発表予想を下回る見込みではありますが、採算性の改善とコストの見直しを行うこと、また、アプリケーションサービス事業においては売上高が順調に推移する見込みであることにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

[連結]

当社の完全子会社である予約.com株式会社の事業譲渡が通期売上予想に影響を与えるとともに、連結での採算性の改善が見込まれます。そのため、個別業績予想を踏まえ、売上高は減少するものの営業利益、経常利益及び当期純利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上